

1. 授業評価アンケートの意義

経済学部では、各授業において授業評価アンケートを期間中と期末の2回実施し、授業改善に役立っている。期間中のアンケートは主に授業期間中の中間時点で実施し、開講期間中の授業方法の改善に役立てるためことを目的としている。期末アンケートは授業の理解や次年度への改善に役立てることを目的としている。担当教員は、これら期間中アンケートと期末アンケートの結果を踏まえて「授業評価アンケート結果報告書」を作成し、授業方法の改善や内容の検討を行っている。

2. 授業評価アンケートの公開場所とその方法

担当教員が作成した「授業評価アンケート結果報告書」は、学事課にて学生に開示、閲覧できるようにすることで、学生への授業改善のフィードバックを行っている。

3. 「授業評価アンケート結果報告書」の要約

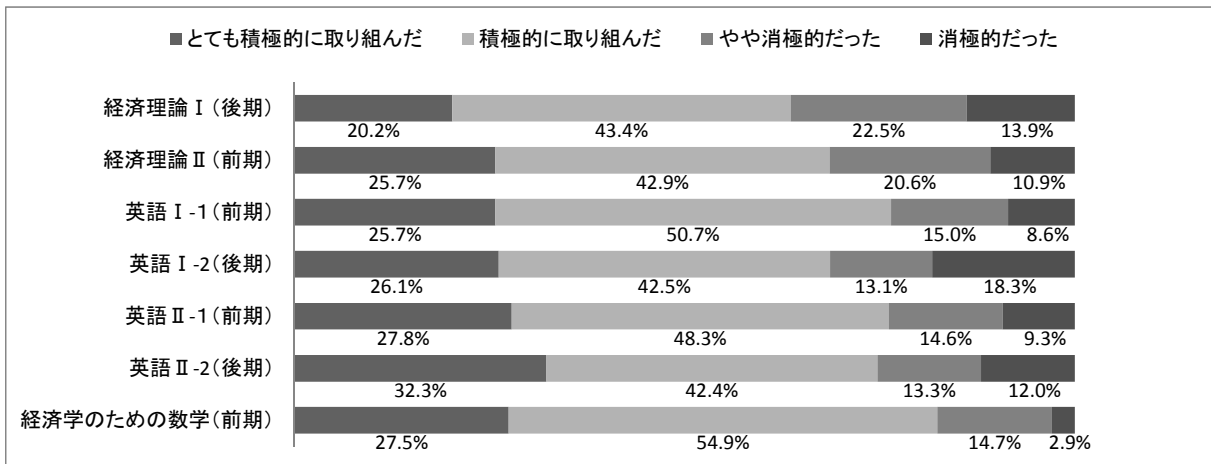
各授業の授業評価アンケートの詳細は、それぞれ担当教員が作成した「授業評価アンケート結果報告書」を参照して欲しい。ここでは下記の1年次開講の主要必修科目7科目の期末アンケート結果の要約を以下にまとめている。ただし、これらの授業はクラス制科目であり、この要約は科目別の全クラスを合計したものである。

- ・経済理論Ⅰ（後期開講）
- ・経済理論Ⅱ（前期開講）
- ・英語コミュニケーションⅠ-1（前期開講）以下、英語Ⅰ-1とする
- ・英語コミュニケーションⅠ-2（後期開講）以下、英語Ⅰ-2とする
- ・英語コミュニケーションⅡ-1（前期開講）以下、英語Ⅱ-1とする
- ・英語コミュニケーションⅡ-2（後期開講）以下、英語Ⅱ-2とする
- ・経済学のための数学（前期開講）

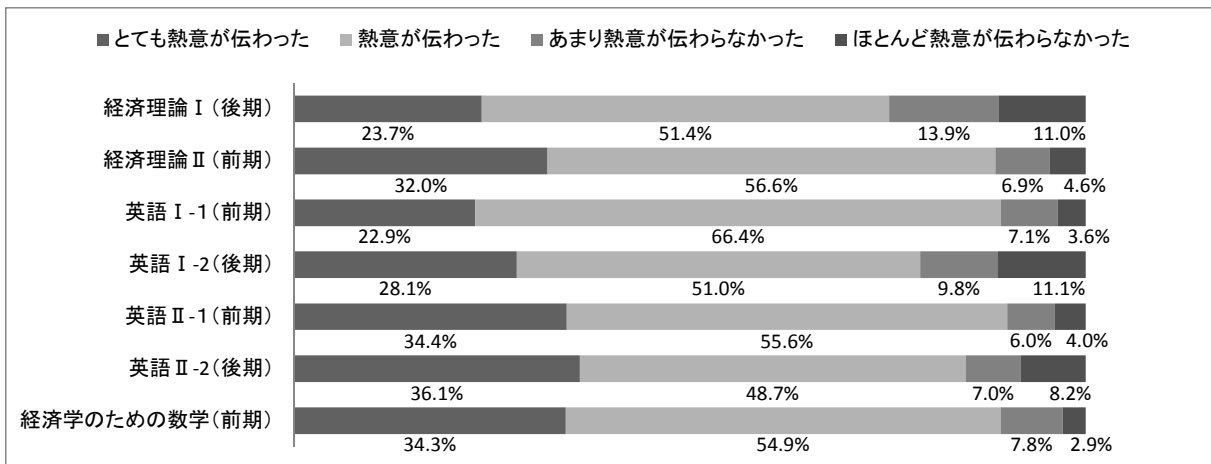
<期末アンケートの質問項目>

- 質問1 あなたはこの授業にがんばって取り組みましたか。
- 質問2 授業に対する教員の熱意は伝わってきましたか。
- 質問3 質問・相談をしたことがありますか。
- 質問4 前述の質問3であると答えた人のみ回答してください。質問・相談をしたときの教員の対応はどうでしたか。
- 質問5 授業内容は良く理解できましたか。
- 質問6 あなたはこの授業の予習復習に、1週間で何時間ほど勉強していますか。
- 質問7 この授業に関することを自由に記述してください（特に良かった点や改善した方がよい点など）。

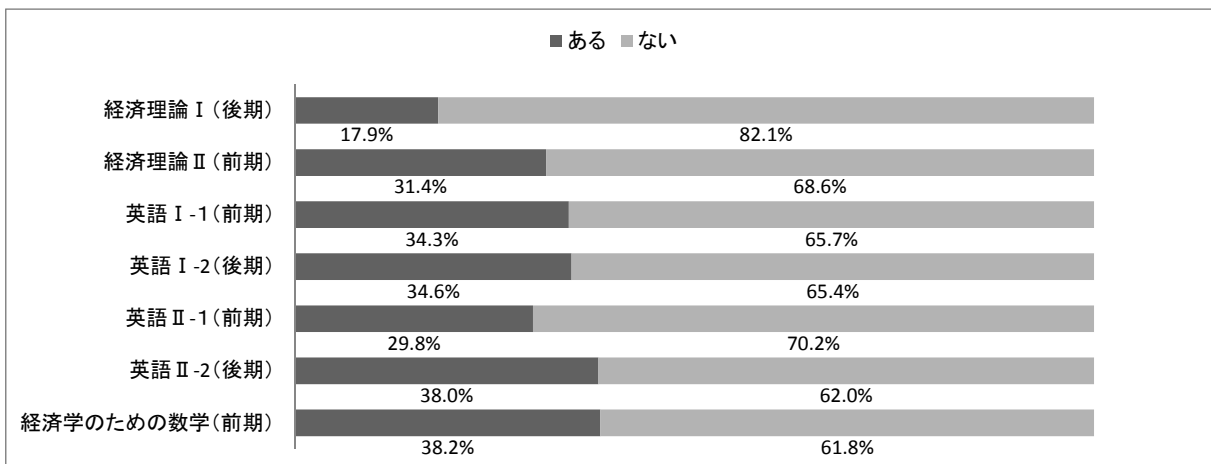
質問 1 あなたはこの授業にがんばって取り組みましたか。



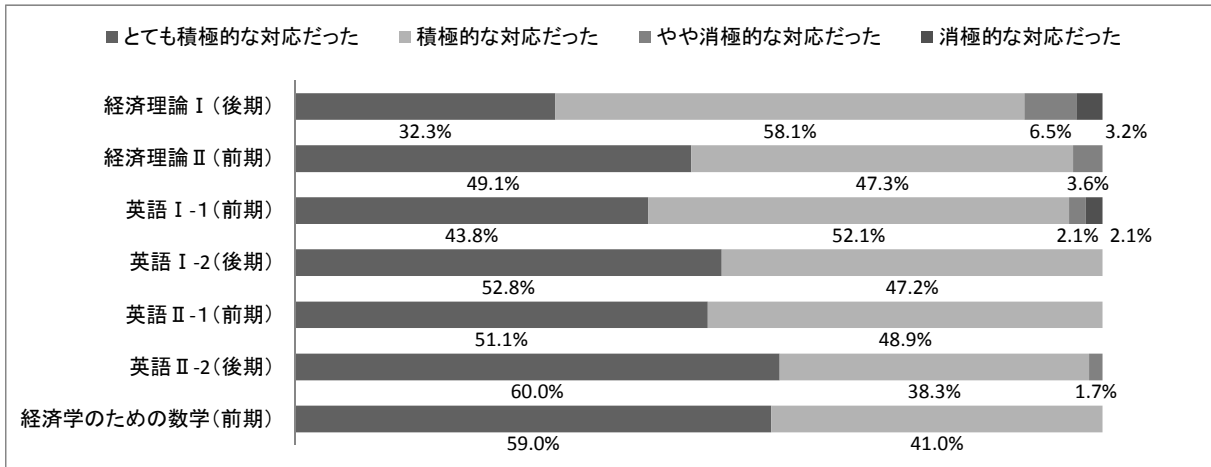
質問 2 授業に対する教員の熱意は伝わってきましたか。



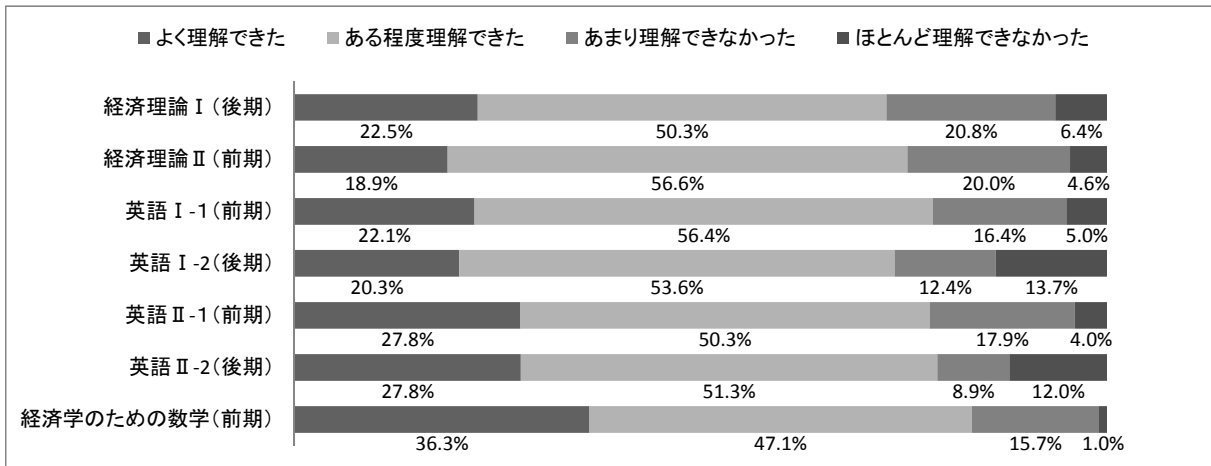
質問 3 質問・相談をしたことがありますか。



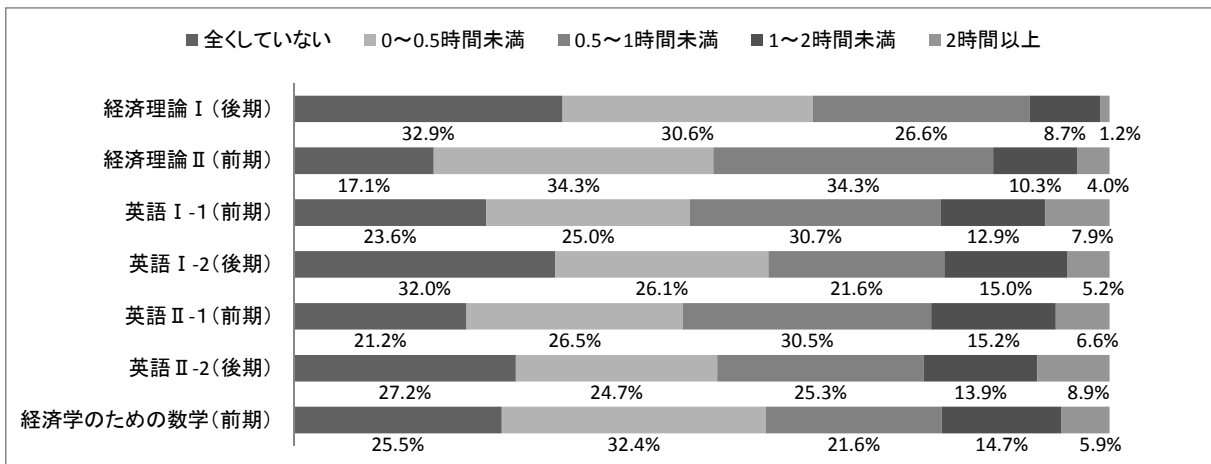
質問4 前述の質問3であると答えた人のみ回答してください。質問・相談をしたときの教員の対応はどうでしたか。



質問5 授業内容は良く理解できましたか。



質問6 あなたはこの授業の予習復習に、1週間で何時間ほど勉強していますか。



質問7 この授業に関することを自由に記述してください（特に良かった点や改善した方がよい点など）。

※上記7科目の学生回答を教務委員が閲覧し、今後他の授業でも授業改善のヒントになるものを以下に抜粋した。

<特に良かった点>

- ・授業中の文章の繰り返しやしたことなどが自分のためになった。
- ・何回も繰り返すので分かりやすく復習にもなった。
- ・やる気がおきるような雰囲気してくれた。
- ・こまめに小テストをしたり自分のために予習をやったりと、授業内容もわかりやすく説明してくれたたりみんなにあわせて授業をやってくれたり質問にはわかりやすく教えてくれたのでよかったです。
- ・授業の始めに前回授業の復習を行うのはとても理解しやすかった。

<改善した方がよい点>

- ・少し余計な事が多いかと思います。
- ・騒がしい人間をもっとちゃんと注意してほしい。あまり集中できない。
- ・最初の進行スピードが遅く感じた。
- ・授業の問題を理解することが難しくもう少し簡単な説明をしていただきたいかった。
- ・何を説明しているのかよくわからない。

4. むすび

授業評価アンケートより、今後の全ての授業において授業改善に役立つことを4点あげておく。

①授業内容の繰り返し学習

積み上げ学習も重要であるが、学生の授業内容の理解には繰り返し学習も重要である。ただし、授業時間の制約もあるので、予習復習を兼ねた宿題を検討してみる。

②授業進行のスピード

授業進行のスピードについては、授業内のものと、授業期間全体のものの2つがある。前者については、どの教員も意識していると考えられるが、常に学生の反応を見ることが重要である。また、授業期間全体については、シラバス作成段階から検討しなければならない。

③授業環境の整備

ごく一部の学生による私語や悪い学習態度は、担当教員が考える以上に他の学生に学習意欲を下げってしまう。学生の学習意欲を下げないためには、適切な注意が必要である。

④学習目標の明確化

時折、学生が授業中に何をしているのかわからない状況に陥ることがある。そのため、重複しても構わないので、その都度何を説明しているのか、また、その説明の学習内容における位置づけを学生に伝える工夫が必要であると考えます。

以上